

类别: B 卷试卷

# 河南师范大学

## 二〇〇九年硕士研究生入学考试业务课试卷

科目代码: 622 名称: 日语理论 适用专业或方向: 外国语言学与应用语言学  
(必须在答题纸上答题, 在试卷上答题无效, 答题纸可向监考老师索要)

問題一、次の各文の \_\_\_\_\_ の上に適当な言葉を書き入れなさい。(1×20=20点)

1. 「群書類」は712年に太安万侶が、「万葉集」は720年に舎人親王ら完成したものである。しかし、どちらにしても、太安万侶なり舎人親王なりが新たに書き下したものでなく、古くから伝わってきた「帝紀」「旧辞」などと呼ばれる文献を整理し加筆して一部の書物にまとめ上げたものである。

2. 7世紀の初期に蘇我馬子と共に国政を総理した聖徳太子については、伝記と神話的な潤色に覆われていて、どこまでが確実な事実であるか、どこまでが太子の創意による業績か、判別が容易ではない。ほぼ太子が作ったことの確かな 実録は、君主が国内で唯一の権威を持つこと、諸豪族が君主の命令に忠実に服従する義務のあることなどが強調されている。大王に、中国の \_\_\_\_\_ の経典から取ったと考えられる「天皇」の称号を採用したのも、「日本」という国名を使うようになったのも、この頃あるいはその後間もない時期のことであった。

3. 平家を滅ぼし、鎌倉に幕府を開いた源頼朝は貴族政権と大きな違いである御家人制度を実施した。御家人とは鎌倉幕府の将軍と \_\_\_\_\_ 関係を結んだ武士たちである。御家人となれば、地頭に任命されることによって先祖伝来の領地に対する権利を保証され、また新たな領地を給付されるなどの御恩を受け、そのかわりに様々な形の \_\_\_\_\_ を義務付けられた。

4. 伴 家持 はもと、和歌を分割し、問答の形で読み出すところに起源があり、和歌の一つの変形として古くから行われていたのであるが、14世紀頃から地方の武士、神官、僧侶などの間に広まっていった。このころの作品は、観念のうちに幻想の美を人工的に創造した「新古今集」の \_\_\_\_\_ の精神を継承発展させ、和歌においては一掃できなかった感傷主義を払拭し、透徹した客観的諦視をもって自然と人生の様々な姿を捉え、しかもそれを集団的会合の席上における参加者の微妙な呼応のうちに連作するという、独特の芸術的 \_\_\_\_\_ を作り出すことに成功したのであった。

5. 能の先祖は 世阿弥 と呼ばれる。14世紀に足利義満のころに出た能役者観阿弥、世阿弥父子により、芸術として完成を遂げることとなったのである。能の間に演出される \_\_\_\_\_ は、現代の世相を主題とし、武士や僧侶などの支配階級の生活の裏面をも遠慮なく暴露し、庶民的興味からする笑いを求める通俗喜劇を構成する点、これまでのどのような芸術よりももっとも民衆的芸術と言える。

6. 室町時代の中ごろ以後の\_\_\_\_\_寺院では、広大な自然を狭い空間に圧縮し、象徴的手法で表現する、新しい様式の庭園を造るようになった。他に一物もない白砂の上に大小15の石を配置するだけで大海の趣を表している\_\_\_\_\_寺の石庭や、狭い場所に深山から流れ出す谷川の複雑な景観を石の組み合わせだけでつくりだした大徳寺大仙院の庭園などが、そのもっとも優れた実例である。

7. 元禄時代の町人芸術として、まず第一に井原西鶴を挙げねばならない。それは、連歌の一種から出たもので、もと滑稽を特色とするものであったが、浮世草子が井原西鶴が元禄1681年に新しい正風を初め、その芸術的境地は一段と深められるに至った。自然の閑寂な趣をとらえる点において特色をよく発揮しており、その高雅な脱俗の精神は、むしろ宗教的境地を思わせるものがある。

8. 江戸時代において、国学は国語学的な研究を試みたところに発している。賀茂真淵から本居宣長に至り、思想的にも学問的にも大成の域に達した。ことに\_\_\_\_\_が、古事記の注釈書「古事記伝」は、日本の古典に対する綿密な実証的研究として、今日でも、研究者が必ず座右に備えなければならないほど学問的価値の高い力作である。もう一つの業績は、彼は「\_\_\_\_\_」の本領を、儒教や仏教の教えを示すためでなく、「もののあわれ」を表現するにあると見、道德、宗教の手段にとどまらない芸術の独自の存在理由を明らかにしたこと、恋愛こそ人間真情のもっとも切なる表れであり、日本の古代文芸が恋愛を主題としたものの多いのは、文芸としてその本旨によくかなったもので、好色的という非難は儒教的偽善に過ぎないと強調していることなどは、封建的思想を正面から批判した、新しい考え方を示すものであった。

9. 倒幕派の武士、公家を主体とする新政府は、1868年1月条約締結諸国に対し、王政復古によって徳川幕府を主権者とする新政権が成立したことを通告し、国内に向かっては開国和親の布告を行った。1868年7月江戸を東京と改称し、9月年号を徳川と改元した。

10. 明治維新後、思想界では文明開化の風潮とともに欧米の自由主義や個人主義の思想が流入し、明六社の主要なメンバーである福澤諭吉「西洋事情」「学問のススメ」「文明論之概略」などを著し、中村正直は「西国立志編」「自由之理」を訳出し、個人や国家の独立を主張し、文芸活動を進めた。

問題二、次の言葉に読み方をつけなさい。(1×30=30点)

- |                             |                          |                            |
|-----------------------------|--------------------------|----------------------------|
| 1. 弥生文化 <u>やいばく</u>         | 縁語 <u>えんご</u>            | 3. 勅撰和歌集 <u>ちくせんわかしゅう</u>  |
| 4. 白鳳文化 <u>はくふう</u>         | 5. 最澄 <u>さいてい</u>        | 6. 大鏡 <u>おほなかがみ</u>        |
| 7. 儒学 <u>じゅがく</u>           | 8. 歌舞伎 <u>かぶき</u>        | 9. 朱子学 <u>しゅうしがく</u>       |
| 10. 寺子屋 <u>てらこや</u>         | 11. 蘭学 <u>らんがく</u>       | 12. 浄瑠璃 <u>じやうるり</u>       |
| 13. 勧善懲悪 <u>かんぜんちやうあく</u>   | 14. 町人文化 <u>ちやうにんぶんか</u> | 15. 浮世絵 <u>うきえ</u>         |
| 16. 松尾芭蕉 <u>まつお ばけう</u>     | 17. 俳句 <u>はいく</u>        | 18. 幽玄 <u>ゆうげん</u>         |
| 19. 浮世草子 <u>うきぞうし</u>       | 20. 福沢諭吉 <u>ふくざく ぎ</u>   | 21. 言文一致 <u>げんぶんいち</u>     |
| 22. 二葉亭四迷 <u>ふたばてい しむ</u>   | 23. 森鷗外 <u>もり おうがい</u>   | 24. 夏目漱石 <u>なつめい せき</u>    |
| 25. 与謝野晶子 <u>よ せいの しょうこ</u> | 26. 中島敦 <u>なかしま じゅん</u>  | 27. 白樺派 <u>しらがは</u>        |
| 28. 文学界 <u>ぶんがくかい</u>       | 29. 樋口一葉 <u>ひぐち いちよう</u> | 30. 大江健三郎 <u>おほえき けんざう</u> |

f.

問題三、次のA群の作家と関係あるものをB群から選りなさい。(1×20=20点)

A群:

- |                 |               |               |
|-----------------|---------------|---------------|
| 1. 幸田露伴 (ケ)     | 2. 菊池寛 (テ)    | 3. 芥川龍之介 (セ)  |
| 4. 有島武郎 (イ)     | 5. 堀辰雄 (ニ)    | 6. 宮本百合子 (ト)  |
| 7. 遠藤周作 (ウ)     | 8. 大岡昇平 (ク)   | 9. 中島敦 (カ)    |
| 10. 野間宏 (ス) 暗い絵 | 11. 太宰治 (ア)   | 12. 壺井栄 (オ)   |
| 13. 三好達治 (タ) E  | 14. 梶井基次郎 (コ) | 15. 大江健三郎 (シ) |
| 16. 井上靖 (カ)     | 17. 上田敏 (ソ)   | 18. 松本清張 (キ)  |
| 19. 村上春樹 (チ)    | 20. 高村光太郎 (リ) |               |

B群:

- |            |            |         |
|------------|------------|---------|
| ア. 人間失格    | イ. ある女     | ウ. 点と線  |
| エ. 顔の中の赤い月 | オ. 道程      | カ. 山月記  |
| キ. 二十四の瞳   | ク. 敦煌      | ケ. 五重塔  |
| コ. 檸檬      | サ. ノルウェイの森 | シ. 風たちぬ |
| ス. 海潮音     | セ. 地獄変     | ソ. 伸子   |
| タ. 野火      | チ. 死者の奢り   | ツ. 海と毒薬 |
| テ. 乳母車     | ト. 真珠夫人    |         |

問題四、次の挙げられた文学史上の用語を簡明に説明しなさい。(5×6=30点)

1. 硯友社文学
2. 耽美派
3. 白樺派
4. 私小説
5. 新思潮派
6. プロレタリア文学

まほうばあ.

問題五、次の作品から二つ選んで、あらすじを紹介してから自分の感想を述べなさい。  
(25×2=50点)

1. 「小説神髓」(坪内逍遙、明治18年発表)
2. 「舞姫」(森鷗外、明治23年発表)
3. 「破戒」(島崎藤村、明治39年発表)
4. 「鼻」(芥川龍之介、大正5年発表)
5. 「伊豆の踊子」(川端康成、大正15年発表) 伊豆の舞.
6. 「春琴抄」(谷崎潤一郎、昭和8年発表) 耽美
7. 「顔の中の赤い月」(野間宏、昭和22年発表)